

旭化成ホームズ株式会社「環境報告書 2010」を発行

旭化成ホームズ株式会社（本社：東京都 新宿区、代表取締役社長：平居 正仁）は、当社および関連会社の 2009 年度の環境保全活動と社会活動についてまとめた「環境報告書 2010」を発行しました。

本報告書は、当社の持株会社である旭化成株式会社のホームズセグメント（住宅事業）における取り組みを詳しくまとめたものです。今回は人・自然・街のつながりを考え、やさしい都市環境を目指した 3 階建て住宅「ヘーベルハウス フレックス G3」の発売や「ひとと住環境研究会」の研究活動成果に基づく調査報告書とコンセプトハウスの発表、さまざまないのちを育みながら順調に成長を続ける「あさひ・いのちの森」といったトピックスを中心にまとめてあります。

「フレックス G3」は、躯体構造がシンプルで大空間設計が容易なシステムラーメン構造のため、将来的なりノバージョン対応性に優れ、住宅の長期使用に応える構造であり、同時に、人・自然・街のつながりを考え都市生活におけるエコロジーや自然との共存についても配慮した「都市的自然主義」を提案する 3 階建て住宅の新商品です。

また、「ひとと住環境研究会」による発表では、2006 年に産学共同研究会として発足し“ひとの健康と心地よさを両立させる住環境のあり方（真の快適）”に関する研究を続けてきた同研究会が、その調査報告書をまとめるとともに、自然のリズムに寄り添う住まいを実現したコンセプトハウスをつくば市に建設し、公開しました。

「あさひ・いのちの森」は、「富士市沿岸部の原風景」再生を目標に、周辺域の植生調査に基づいて 3 年前に富士市の住宅総合技術研究所の一角に作られ、潜在植生の復活だけでなく、二次林、草地、湿地、池、川などの多様な環境を創出したものです。社員や近隣のみなさんと植樹した当初数十センチだった苗が今では 2 m を超えるまでに成長し、トンボやカエル、ホタルなどさまざまないのちを育てています。このほど、本年 10 月に名古屋で開催される生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）に向けて募集された「生物多様性保全につながる企業のみどり 100 選」に選考・認定されました。

1. 報告対象期間

2009 年度（2009 年 4 月～2010 年 3 月）

2. 報告対象範囲

旭化成ホームズ株式会社、旭化成住工株式会社、
旭化成建材株式会社（旭化成ホームズ株式会社分）

3. 2009 年度のトピックス

- (1) 人・自然・街のつながりを考え、やさしい都市環境を目指した3階建て住宅「フレックス G3」
- (2) 「ひとと住環境研究会」が研究活動の成果として調査報告書とコンセプトハウスを発表
- (3) 採用実績すでに1,600棟へ。30年耐用型光触媒コーティング「デュラ光」
- (4) 環境に負荷をかけない次世代の暮らしを提案して「発電ヘーベルハウス」が2,000棟以上に伸長
- (5) 長期優良住宅の先駆「ストックヘーベルハウス」が1,000棟達成
- (6) 環境に配慮したマンション建替えプロジェクト「アトラス野毛山」がグッドデザイン賞を受賞
- (7) さまざまないのちを育みながら順調に成長を続ける「あさひ・いのちの森」

※当社ウェブサイトにも本報告書（PDF版）を掲載しております。

<http://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/kankyo2010.pdf>

<本件に関するお問い合わせ先>

旭化成ホームズ株式会社	広報室	tel 03-3344-7115
〒160-8345	東京都新宿区西新宿 1-24-1	エステック情報ビル